

アート・アスレチック教育 ニュースレター



東京学芸大学アート・アスレチック教育センター
CAAAE Center for Applied Arts and Athletics Education

Topics ▶▶▶ オープニング・セレモニー&柔道家・角田夏実氏講演会/CAAAE教員日記 /共催・協賛事業報告

本センターのオープニング・セレモニーと、本学卒業生である柔道家・角田夏実氏をお呼びして講演会を行いました。学内外のたくさんの方にご来場いただき、CAAAEをお披露目することができました。今月号はその様子と、教員によるコラムの第2弾、イベントの報告を掲載しています。

【報告】オープニング・セレモニー&柔道家・角田夏実氏講演会

2024年11月13日(水)、全国初となる「アート・アスレチック教育センター(CAAAE)」の開設を記念するオープニング・セレモニーを芸術館・学芸の森にて開催しました。また、本セレモニーではパリ・オリンピック女子柔道48キロ級で金メダルを獲得した柔道家・角田夏実氏を招き、講演会を実施しました。

オープニング・セレモニーでは、音楽科の学生によるファンファーレ『重なる願い』の演奏から始まり、華やかな幕開けとなりました。なお、演奏されたファンファーレは、「CAAAE(ドラララミ)」の音をモチーフとして、本センターのために音楽科の学生が作曲した作品です。学長、機構長、センター長の講話を挟み、本センターの看板題字、ロゴマークデザイン、ファンファーレに選ばれた書道科・美術科・音楽科の学生の表彰式を行い、「CAAAE賞」が授与されました。



▶ファンファーレの演奏



▶「準備力」について講演する角田夏実氏と柔道部の学生

【学生表彰CAAAE賞】

看板題字：北嶋葉菜
ロゴデザイン：井富有音
ファンファーレ：田中弦大



▶学長講話

そして、角田氏の荣誉教授称号授与式が行われ、荣誉教授号と花束が角田氏に贈呈されました。角田氏は、「ここまで頑張ってきたのは皆さんの応援のおかげ。これからも頑張ります」と意気込みを語ってくれました。

講演会では「準備力」というテーマで自作のパワーポイントと、柔道部の後輩学生とのトークの掛け合いにより、和やかな雰囲気が進められました。角田氏は、これまでの順風満帆ではなかった活柔道人生を振り返り、その経験を踏まえてパリ・オリンピックまでどのように各大会に向けて準備をしていたのかが写真や動画を交えて語られました。講演後の質疑応答では、「準備力を修正していくために必要なことは？」「準備をしていく上で意識していることは？」等さまざまな専攻の学生から質問が出され、角田氏は各質問に対して丁寧に回答してくれました。



▶センター室での集合写真



コラム CAAAE 教員日記

中地雅之 教授（アート・アスレチック教育センター長/音楽・演劇講座）

「谷川俊太郎の詩と音楽」



▶合唱特別講座の様子（左：中地教授、右：谷川氏）

2024年11月13日（水）、日本を代表する現代詩人である谷川俊太郎氏が旅立たれた。数多くの作品を遺した氏の創作の原点には、音楽と自然があると生前ご自身が語っていた。その作品には、日本語が持つことばの美しさがあり、音楽的なリズムや調べが内在している。氏の作品は、「最も音楽に近いことば」であり、日本で最多の合唱曲が作曲されている。

2017年に谷川氏を本学の合唱特別講座にお招きし、朗読と詩・音楽・合唱に関するお話を頂いた。その内容と後日のインタビューを、『声が世界を抱きしめます』（東京学芸大学出版会刊）という書籍にまとめた。そのご縁から、氏の作品に作曲された1200冊以上の合唱の楽譜が本学に寄贈された。附属図書館の2階に「文庫《声のオーロラ》」が設置され、CDなども含めた計500点以上を開架で閲覧することができる。また、同書に「合唱」という新作を書き下ろして頂き、既に何人かの作曲家によってこの詩から合唱曲が創られている。氏が生み出した多くの作品は、今後も感動を私たちに与え続けてくれるに違いない。

谷川氏が亡くなられたのは、本センターのオープニング・セレモニーの日であった。氏から託された楽譜は、引き続き本センターで整理していく計画である。また、谷川氏の作品に音楽科と国語科からアプローチする、教科横断型教育プロジェクトも予定している。氏は、現代詩の世界を、音楽のみならず、絵画・絵本・映像・写真・演劇・コミックなど様々な領域へと開いていった。常にあそび心を忘れず、様々な領域をつなぎ、越えていった谷川氏に憧れ、これからも本センターの活動を進めていきたい。

共催・協賛事業報告



3市交流サッカーフェスティバル

11月16日（土）に小金井・国分寺・小平市内で活動する小学校4年生のサッカー選手91名が集うサッカーフェスティバルが開催されました。本フェスティバルは、将来、教員や指導者を目指す本学蹴球部員のサポートのもと、子ども達が既存のチームに縛られず、その日初めて会ったメンバーと新しいチームを作って試合をする形式で開催しました。サッカーを通じ、子ども達の主体的な活動や勇気を出してチャレンジする様子が見られました。



▶サッカーフェスティバル

HIVE棟グランドオープニングイベント「験祭(あかしさい)～きみの「面白い」は世界を変える?～」



▶験祭

11月17日（日）に、本学HIVE棟において験祭が開催されました。学生や地域の方、また他大学の参加もあり、HIVE棟やその周辺が活気にあふれた空間となりました。本センターは、歌づくりワークショップを行い、「みんなが面白いと思ったこと」を集めて歌にしました。「服が被った」「大きなさつまいもが取れた」「学校で鬼ごっこをしたこと」など、さまざまな「面白い」が集まり、験祭の最後に披露しました。みんなで声を合わせて、歌う楽しさを味わうことができました。

